

家園

第2号



NPO法人 中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル1階
TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358
<http://www.ab.auone-net.jp/~jc-yuko>



目 次

★ 「NPO法人 中国帰国者・日中友好の会」第三回定期総会円満開催	2
★ 厚生労働大臣と全国原告団代表との面談	3
★ “人不責己”与“换位思考”	4
★ 安藤己代子さん一家をお迎えして	5
★ 「餃子工房」の新たな発展	5
★ 「2011非核・平和をうたうつどい」	6
★ 「中国帰国者之墓」のご案内	7
★ 「NPO法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録	8
★ お知らせ	8

NPO法人 中国帰国者・日中友好の会 第三回定期総会円満開催

NPO 法人 中国帰国者・日中友好之会第三次定期总会，于 2011 年 5 月 29 日下午 1 时 30 分在台东区民中心召开。

首先，由司会河村忠志向大会报告了正会员出席情况，正会员出席人数（含提交委任状和书面表决的人数）超过正会员半数以上宣布大会的召开。同时，选出松本莉惠为本次总会的议长，主持大会。会上，由池田澄江理事长向大会作了两个议案的报告。即，第一号议案 2010 年度事业报告；收支决算和 2011 年度事业计划、收支预算的报告；第二号议案 役員変更及任期更新の報告。然后，由本会监事河合弘之先生作 2010 年度会计监查报告。在两个报告之后，对池田理事长所作的两个议案的报告进行表决。与会人员，一致通过两个议案。

两个议案通过之后，律师；安原先生，河合先生和小野寺先生都发表了热情洋溢的讲话，对本会一年中的工作给与充分的肯定和鼓励，对本会今后的工作寄予希望。

大会于下午 3 时 40 分圆满完成所有议程，宣布闭会。

会后，新一届理事会随即召开第一次会议，选举产生本会新一届理事长，副理事长。新一届理事通过无记名投票方式选出池田澄江为本会理事长，宇都宮孝良、宮崎慶文为副理事长。同时，池田理事长任命河村忠志为事务局长，白山明德、佐藤麗子为事务局次长。

2011 年 5 月 29 日午後1時 30 分、台東区民センターでNPO 法人中国帰国者・日中友好の会第三回定期総会を開催致しました。

先ず、司会の河村忠志さんから正会員の出席状況が(委任状を含む、書面表決)半数以上であると発表し、総会を開会しました。同時に、松本莉恵さんが本総会議長に任命されました。

そして、池田澄江理事長が総会議案の報告をしました。即、第一号議案、2010 年事業報告・収支決算と 2011 年度事業計画・収支予算の報告をしました。続いて第二号議案、役員変更及び任期更新の提案をしました。その後、監事の河合弘之先生から 2010 年度会計監査報告が終わった後、出席者は満場一致で上記の議案を可決しました。

二つの議案を採択した後、弁護士の安原先生、河合先生と小野寺先生から、情熱の溢れるお言葉を頂きました。また、本会の一年間の活動について、肯定的な評価と今後の発展への期待を頂きました。

午後 3 時 40 分に、全ての議案を承認して、総会は円満の雰囲気の中で幕を閉じました。

新たに誕生した理事たちは、第一回理事会を行いました。匿名の方式で投票し、池田澄江新理事長、宇都宮孝良副理事長と宮崎慶文副理事長を選出しました。また、池田理事長から河村忠志事務局長、白山明德事務局次長と佐藤麗子事務局次長が任命されました。

厚生労働大臣と全国原告団代表との面談

中国残留孤児関東訴訟弁護団 弁護士 米倉洋子

今年7月11日下午5点开始，位于厚生省10楼的厚生大臣办公室里，中国残留孤儿诉讼全国原告团代表和细川律夫厚生劳动大臣进行了会谈。

这是为了纪念2007年7月9日与党PT(执政党工作小组)就“中国残留邦人新支援政策”最终达成协议，从2008年7月起，每年举行一次的大臣面谈，至今已第四回了。

当天，来自札幌、东北、山形、东京、长野、大阪、京都、広島、高知、福岡、鹿児島等各地原告团代表共17名原告聚会列席。小野寺律师(东京)、藤原律师(高知)等7名律师也参加了当天的会谈。还有众议院议员中谷元先生也出席了会议。原告团池田澄江代表向厚生大臣亲手提交2011年新的「要望書」，之后辩护团向厚生大臣提出了要求，强调指出：在孤儿死后，提高和改善对配偶者的支援待遇。这是全国孤儿的共同要求，希望大臣亲自实现这一愿望。

细川厚生大臣诚恳地表示：「非常理解孤儿和配偶者的心情，一定以诚意来对应大家的要求」。

还有当天，在同大臣面谈之前，从下午2点30分开始，到5点多，原告团代表和厚生省的审议官、科长、孤儿对策室室长等其他官员一起交换了意见。原告团代表分别阐述了：对配偶者的支援，提高收入认定除外额，与二世同居等问题，还有住宅问题，老人设施问题，充实对二世三世的支援，和放宽去中国渡航的制约等要求，诚恳地阐明每一个要求，会议开得圆满充实。

裁判结束已经4年了，全国孤儿能够这样团结一心，为了不断地改善和提高新支援政策而作出的努力，是一件非常了不起的事情。正是因为这种团结一致的力量，才使大臣在百忙之中，挤出时间和大家促膝相谈，对大家的意见洗耳恭听。

我们坚信，今年的大臣面谈，使原告代表们的想法和愿望，充分地反映到大臣和厚生省的一次面谈。

今后，辩护团也要和大家一起共同努力！

今年7月11日午後5時から，厚労省10階の厚労大臣室で，中国残留孤児訴訟全国原告団の代表と細川律夫厚生労働大臣との面談が行われました。

これは，2007年7月9日中国残留邦人に対する新支援策の与党PT案が合意されたことを記念して，2008年7月から毎年1回行われてきたもので，今年で4回目になります。札幌，東北，山形，東京，長野，大阪，京都，広島，高知，福岡，鹿児島島の各原告団から総勢17名の原告が集まり，小野寺弁護士(東京)，藤原弁護士(高知)など7名の弁護士も参加しました。中谷元衆議院議員も同席しました。

原告団を代表して池田澄江さんが厚労大臣に2011年版の「要望書」を手渡し，弁護団から，特に孤児死亡後の配偶者支援の拡充が全国の孤児の強い要望であり，ぜひ大臣の手で実現してほしいと強調しました。

細川厚生大臣は，「孤児や配偶者の皆さんの気持ちを汲みながら，誠意をもって対応することを誓います」と述べました。

また当日は，大臣面談に先立ち，午後2時半から5時過ぎまで，原告団代表と厚生省の審議官，課長，孤児対策室室長ほかスタッフとの意見交換会も行われました。原告団代表は各自，配偶者支援，収入認定除外率のアップ，2世との同居問題，住宅問題，老人ホーム問題，2世3世に対する支援の充実，中国渡航に対する制約の緩和など，切実な要望について意見を述べ，充実した会議になりました。

裁判が終わって4年たっても，全国の孤児がこのように団結し，新支援策について不断の検証と改善要求を行っているのは素晴らしいことです。この団結があるからこそ，超多忙な大臣も，孤児の皆さんの声に耳を傾ける姿勢を維持しているのです。

原告の皆さんの思いを，今年も，大臣と厚生省に十分に伝えることができた大臣面談だったと思います。これからも弁護団と共に力を合わせてがんばりましょう。

“人不责己”与“换位思考”

富山智夫

“人不责己”乃是人类思维与行为活动中的一种维护“一己之私”的表现，是人际关系中蕴育矛盾的因子，是挑发事端的元素，是造成冲突的诱因。

日常生活中，一些芝麻谷子，鸡毛蒜皮般的琐事，往往由于不得体的行为方式，而酿成了不愉快的意外结果。

厉声厉色地指责他人的冷酷态度；咄咄逼人，高分贝的声音；严苛尖酸，颇为歹毒的谴责用语；飞扬跋扈，不可一世的欺人态势；令对方招架不住、忍受不了，而爆发、而反抗。

于是乎，针锋相对、你来我往；唇齿相讥、各不相让；唾星飞溅、硝烟四起；唇枪舌剑、甚嚣尘上；直闹得飞沙走石、天昏地暗；口干舌燥、声嘶力竭；灰头土脸、两败俱伤，方不得不偃旗息鼓，终极罢战尔耳！

此皆乃“人不责己”之过也！

凡事只责怪他人，不思自省，非君子之道也！

两千年前，孔老夫子告诫其弟子子贡曰：“己所不欲，勿施于人”，自彼时伊始，为人间行为准则，指明了应有的道德操守。从而促进了人际关系的和谐与社会之安定。故而儒学先师董仲舒慨叹曰：“天不生仲尼，自古长如夜”。

现代行为心理学提出了“换位思考”的思维方法之命题。这是千百年来最朴素的逻辑思维：“将人心比自心”思想的升华，是孔夫子教诲的“己所不欲，勿施于人”的新型表述。

“换位思考”，是人际关系中安定和谐的铺路石，是理解和包容的调合剂，是友爱和团结的缝合机。

以“换位思考”的思想方法应对诸般事务，将会得到皆大欢喜之效果。

以“己所不欲，勿施于人”之态度对待他人，将会得到应有的尊重。

遇事应想到：凡自己不喜欢之事，他人亦然。

凡自己不愿接受之事，他人亦同矣。

以此心态去处理人际关系中出现之问题，你会变声色俱厉为和颜悦色；变咄咄逼人为和蔼可亲；变严苛尖酸为和风细雨；变飞扬跋扈为礼贤下士。

如是乎，峰回路转，柳暗花明；万里无云，海阔天空；欢声笑语，高高兴兴；你来我往，乐乐呵呵。

此乃“己所不欲，勿施于人”及“换位思考”之功德也！
君子之道也！

一德立而百善从之。君子之道贵为和也！
愿诸君好自为之。



安藤己代子さん一家をお迎えして

七月七日、由本会作为团体身元保证人、负责安藤己代子一家从所泽退所、有本会事务员迎接、顺利来到东京、开始定居生活。

八月十一日夕阳余辉中、安藤一家三口人受到邀请、来到「中国残留孤儿之家」做客。池田澄江会长不顾手臂有伤、下厨亲手做菜、和几位役員忙碌着、做出一桌丰盛的晚餐。在愉快的音乐声中、大家谈笑开怀。安藤老人显得格格外精神、虽然在中国生活几十年、几经风雨、终于回到祖国日本、开始新的定居生活。

老人忘记几天疲劳、笑声不断、满口流利的日本话、让大家惊讶和高兴。池田会长表示本会将尽力帮助安藤一家克服眼前困难、早日适应新的生活环境。

在会上、NPO 组织役員们也说出自己刚回国定居生活的体验感想、给安藤老人一家很大鼓励。

2011 年 7 月 7 日、当 NPO 会は安藤己代子さん世帯の身元引受人になり、所沢定着センターから台東区に迎えして、ようやく落ち着いたところで、8 月 11 日、夕焼けの中、「中国残留孤児の家」で安藤さんご一家を歓迎する食事会を催しました。

池田澄江理事長は自ら料理を作り、他の十数名の理事たちと一緒に安藤さんご一家を囲んで歓談しました。87 歳の安藤さんは流暢な日本語で自己紹介をし、最後まで笑顔が絶えずに満足な様子でした。その後、理事の皆さんもそれぞれ日本に帰ってきた当時の体験を語りました。

最後に、安藤さんご一家は一日も早く日本（祖国）の生活に慣れるよう、協力してあげてことを述べました。



「餃子工房」の新たな発展

二田口国博

「中国残留孤儿之家」の餃子工房、成立一年多了、现在已是小有名气。不仅在东京、就是日本很多的地方、凡是吃过「餃子工房」餃子的人都这样说：这回才吃到具有中国风味的餃子。它确实与众不同、给人们留下美好的印象。小野寺、安原、河合等律师、以及日中友好协会人士积极帮助宣传、推广销售途径、每天都有客户用传真、电话定货、通过「宅急便」向各地发送。

前一阶段全是手工制作、承受不了大宗定货。为了扩大产量、最近购买了餃子机、和面机、经调试、现已初步掌握机器的性能及操作方法、提高了制作效率。

现在随着产量的增加、大家一致认为保证食品卫生、质量、制定机械和电器安全操作规程。为安全生产打下良好基础、今后大家共同努力、将会加工出更加美味丰富可口的餃子。

NPO 中国帰国者・日中友好の会の「餃子工房」は成立してから一年に経ちました。多少な人気があるなかで一步一步に進んでいる。東京に限らず、地方からのご注文も受けてあり、お客様から「味がおいしい」とか、「中国の本場の味ですね」等の評判を頂き、また、「頑張ってください」等のお手紙も頂いた。

この 6 月に機械を導入して、今まで完全な手作り餃子から、手作りと機械の共同作業で作られている。今後、衛生管理や、商品の品質の管理の他に、安全作業に基づいて、より美味しい餃子を提供できるよう、更なる努力をしなければなりません。

また、より多くのお客様にご賞味して頂けるよう、市場開拓に尽力する他に、引き続き弁護士先生方、日中友好協会のご協力を頂きたく、宜しく願い申し上げます。

「2011 非核・平和をうたうつどい」

佐藤周二

2011年7月18日、在日比谷公会堂召开了「2011年反核戦争・维护和平的公演」。会上，我们归国者43人参加了合唱，6人参加了讲演。本次讲演是用日语，内容是由米仓律师撰稿。虽然只有七分钟时间，但是我们饱含感情地表达反核、反战争、热爱和平的心声。

「私たちは、中国残留日本人孤児です。私たちは、日本人です！」在这坐满两千多人的会场上，我们大声疾呼，向日本国民表叙了日本近代史，让年轻人了解鲜为所知的一段史实：由于战争给我们造成的伤害。

在会上，我们第一次有机会和广岛、长崎原子弹受害者，东京大空袭遇难者，冲绳战争被害者后代，以及「3・11」东日本大地震，原子核发电站遗漏事故等市民站在一起共同发出了心声。回想过去、面对现在，使我们领会到未来，无核・安全与健全的社会是多么宝贵与重要。今后，「NPO 中国归国者・日中友好之会」将继续坚持以「反核、反战争、维护和平」的精神开展多种形式的活动。



2011年7月18日、日比谷公会堂で「非核・平和をうたうつどい」公演会を行いました。中国帰国者から43人が参加されました。また、6人はトークに参加されて、その原稿は米倉弁護士が著作し、7分間6人で台詞を日本語で皆さんの反戦争・平和を願いの熱意を発表しました。

「私たちは、中国残留日本人孤児です。私たちは、日本人です！」と2000人が入る会場で堂々と訴えました。戦争のため、中国に残されて、日本語をしゃべれない日本人となって、残留孤児となった。戦争は許されない。

子どもたちに平和な世界で暮らせるように心から願っています。

広島・長崎からの平和の火は、上野の森で20年間続けて灯してきました。中国帰国者は初めて広島・長崎原爆被害者とその遺族、東京大空襲の被害者とその遺族、沖縄戦争被害者の遺族、また、「3・11」大地震の被災者、原発被害者と一緒にステージに



立って、「非核・反戦争・平和を願い」を、心の底から訴えました。過去を反省し、現在を直面し、また、21世紀の未来に向かって、絶対非核・平和で健全な社会を保持することは、子孫たちにとっていかに重要であり、貴重なことなのかと分かりました。我がNPO 中国帰国者・日中友好の会は今後も終始一貫に「非核・平和を願い」精神で日本社会に、日中両国友好のために微力を尽くしたいと誓います。

「中国帰国者之墓」のご案内

【所在地】東京都あきる野市菅生 7 1 6 西多摩霊園内

【電話】042-558-7731

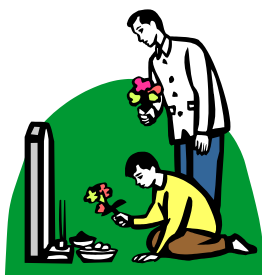
【交通】青梅線福生駅から無料送迎バス（青梅線福生駅 換免费接送巴士）

「中国帰国者之墓」は河合弘之弁護士 1990 年出資營建の。海部俊樹元首相題詞立碑。近期、和一直担任管理的千野誠治先生商議，从 2011 年 7 月开始正式由「NPO 法人 中国帰国者・日中友好之会」承接管理。

今后有关安放骨灰手续及其费用等具体事宜，请与本会中国帰国者之墓管理委员会联系。

联络处（問合せ先）

NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会
「中国帰国者之墓」管理委員会
〒110-0016 東京都台東区台東 4-23-11
川口工商ビル 1F
電話：03-3835-9357 FAX：03-3835-9358



「中国帰国者之墓」は河合弘之弁護士の出資により、碑文は海部俊樹元首相が揮毫され、1990 年に建立されました。先般、現管理者である千野誠治氏と協議の末、2011 年 7 月より「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」が法人として管理すること運びとなりました。

納骨に関する手続き、および費用などについては、当事務所に問い合わせください。



「NPO法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2011年4～7月)

04/10	邀请有关专家, 举办「预防核辐射知识讲座」约 40 人出席听讲	専門家による「原発放射線を予防する」講演会を開催。参加者約 40 名
5 月	高桥秀哉理事赴哈尔滨选购饺子机等设备, 经调试, 已投入使用	高橋秀哉理事、ハルビンに出向き餃子製造機等を購入
05/29	第三次 NPO 法人总会在台东区民中心召开	第三回 NPO 総会が台東区民センターで開催。
06/14	驻日中国大使馆领事刘敬师先生离任回国和 新任总领事刘亚明女士, 关妍领事欢送会, 在本会活动室举行	駐日中国大使館劉敬師領事の任期満了に伴う送別会と新任劉亜明総領事・関妍領事歓迎会が本会で開催
07/04	河合弘之律师出资筹建的东京西多摩陵园内的「中国帰国者之墓」由本会正式接管	河合弘之弁護士の出資で建立された東京都西多摩霊園にある「中国帰国者之墓」が、正式に当会に引き継ぎ管理することとなった
07/07	本会作为首次团体身份保证人负责残留妇人安藤己代子一家出所, 安居到台东区	団体として初めて、残留婦人安藤己代子さん一家の身元保証人を引き受け、台東区に定住
07/11	归国者代表们在厚生労働省大臣办公室和 细川律夫大臣面谈	帰国者代表者らは厚生労働省大臣室で細川律夫厚生労働大臣と面談
07/18	本会 43 人参加日比谷公会堂小野寺利孝弁護士为委员长的「2011 年反核战争・维护和平的公演」大合唱演出	日比谷公会堂で小野寺利孝弁護士を委員長とした「2011 非核・平和をうたうつどい」公演に中国帰国者 40 名余がステージに立って歌とトークに参加
07/20	厚生労働省中国残留孤児対策室井上室长和磯部室長助理来访	厚生労働省中国残留孤児対策室の井上室長と磯部室長補佐が当会を訪問した
07/20	中国归国者 381 人为东日本大震災共计捐款 3,788,600 日元	中国帰国者 381 人から東日本大震災への義援金総額は 3,788,600 円を集まった

♪ 会員親睦旅行 ♪

【日時】: 10 月 7～8 日(金・土)1泊2日

【行先】: 千葉県銚子市犬吠埼 10292

グランドホテル磯屋

【代金】: 12,500 円

【付款截止日】: 9 月 20 日(火)

有意参加者, 请与本会事務局联系。

详情日后到事務局咨询。

参加ご希望の方は事務局まで問合せ下さい

♪ 帰国者まつり ♪

【日時】: 10 月 23 日(日)

【場所】: 台東区民センター

♪ 新学期教室报名开始了 ♪

9 月 1 日到 15 日截止

会員
訃
報

沈痛哀悼本会会員田中輝綱殿(千葉)
於 6 月 29 日不幸病逝 享年 68 歳
心からご冥福をお祈り申し上げます。

《家園》編集委員 (第2号)

白 山 明 徳 ・ 河 村 忠 志
二 田 口 国 博 ・ 富 山 智 夫
佐 藤 麗 子 ・ 王 懷 林
レイアウト・王 莉

編 集 後 記

各位读者朋友：

东京的盛夏闷热的让人喘不过气来！

然而，「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」一如既往积极组织会员定期活动。同时于 7 月 18 日参加了在东京日比谷公会堂举行的「2011 年反核战争・维护和平的公演」大会。令每位与会者深受启发和教育。今后我们将开展多种形式的文化娱乐活动，丰富和充实大家的生活，增加彼此之间的交流。并恳请读者朋友将你参加活动的心得体会感想纪录下来，投稿《家園》编辑部，以使大家共同分享你的喜悦！